

(別紙様式)

令和6年度 学校自己評価システムシート (県立浦和商业高等学校)

目指す学校像	グローバルに展開する経済社会において、多様な分野で幅広く活躍する商業人材の育成
--------	---

重点目標	1 資格取得などの段階的な目標設定を通じて高度な知識・技能の習得を図るとともに、応用力・創造力を育む探究活動を通じてたくましく生き抜く力を養う。 2 地域の中核を担う商業高校として、教育活動の充実を図り、魅力ある商業教育を推進する。 3 キャリア教育を推進し、社会人として必要な知識・技能や教養とマナーを身に付け、規範意識を持ち、生涯にわたり主体的に行動できる人材を育成する。
------	--

達成度	A ほぼ達成(8割以上)
	B 概ね達成(6割以上)
	C 変化の兆し(4割以上)
	D 不十分(4割未満)

※学校間互評評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日

出席者	学校評議員	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				令和6年度評価(令和7年1月31日 現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指数	評価項目の達成状況	達成度
1	○ 【たくましく生き抜く力の養成】 【現状】授業力向上を図るための学びあいの機会や検証が課題であること 【課題】観点別評価を踏まえた学習評価の改善や授業改善	○ 観点別学習状況の評価の着実・効果的な実施を図るとともに、評価を行う際の課題の洗い出しを行い学びあいの機会や検証を推進する。	○ 観点別学習状況の評価に関する評価・改善の実施(通年) ・授業互見とフィードバックによる授業改善の実施(通年)	○ 学習評価の改善について、6割以上の達成度や経時的上昇が見られるか。 ・教職員の授業見学とフィードバックが実施できたか。 ・学びあいの機会や検証の機会を設けることができたか。		
	● 【現状】生徒のアウトプット活動(記述・議論・発表など)の促進と、教科横断的な外部連携授業(指導)の充実が必要であること 【課題】生徒の主体的・実践的な学びの促進に向け、生徒の相互通行のアウトプット活動の充実及び、外部連携活動の促進	● 生徒のアウトプット活動の促進と主体的な学びの充実を図るため、外部連携活動を盛り込んだ実践的な学びを活発にする。	● 生徒のアウトプット活動の活性化(通年) ・アウトプット活動を効果的にする、相互通行のICT活用の活性化 ・外部連携活動の実施	● アウトプット活動の充実について、6割以上の達成度や経時的上昇があるか。 ・相互通行のICT利用度が日常的になったか。 ・外部連携活動が実施できたか。		
2	○ 【魅力ある商業教育の推進】 【現状】学校の魅力について、効果の情報発信や相互通行の情報共有が求められていること 【課題】出前授業・動画公開・生徒・保護者との連携による学校説明会等の実施を通じたさらなる志願倍率の上昇	○ 生徒・保護者・地域をターゲットにした学校の魅力や情報発信のため、出前授業・動画公開に加え、学校説明会の活性化により、さらなる志願倍率の上昇を図る。	○ 生徒・保護者との連携による学校説明会の実施(実施毎) ・出前授業等や動画公開の複数実施(実施毎) ・学校説明会等の参加組数増加 ・希望倍率・最終志願倍率の上昇	○ 生徒や保護者との連携による学校説明会等が実施できたか。 ・出前授業等やHP等による情報公開を複数回効果的に実施できたか(実施毎) ・学校説明会等の純参加600組以上が達成できたか。 ・希望倍率(10・12月)と最終志願倍率が前年度比上昇しているか。		
	● 【現状】目指す学校像などの学校が掲げる目標に準拠した予算の執行と経費削減が求められていること 【課題】教育目標を具現化するための経費・団体費予算の適正な執行と業務改善による経費削減	● 経費・団体費予算の適正な執行と業務改善による経費削減を推進する。	● 目標に準拠した起案・決裁・執行(実施毎) ・経費の削減、業務改善による経費削減への取り組み(通年)	● 目標に準拠した起案・決裁・執行が行われているか。 ・経費削減について、6割以上の達成度や経時的上昇があるか。 ・業務改善による働き方の改善につながる取り組みが行われたか。		
3	○ 【主体的に行動できる人材の育成】 【現状】生徒のキャリア形成のため、キャリア・パスポートのさらなる活用が求められていること 【課題】キャリア・パスポートを有効活用するための振り返りと今後に向けた研究	○ キャリアパスポート(キャリアパス)の一層の有効活用により、生徒のキャリア形成を図る。	○ キャリア・パスポートの有効活用	○ キャリア・パスポートの有効活用について、6割以上の達成度や経時的上昇が見られるか。		
	● 【現状】効果的なキャリア教育の推進のため、支援ツール(生徒手帳・学習の手引き・スタサポ等)の連携が求められていること 【課題】キャリアパスを中心とした、支援ツールを効果的に活用するための研究	● キャリパスを中心とした支援ツールの効果的な連携を図るための調査研究を推進する。	● キャリパスを中心とした支援ツールの効果的な連携 ・他校の取り組みや実践事例の研究	● キャリパスを中心とした支援ツールの効果的な連携について、6割以上の達成度や経時的上昇が見られるか。 ・先行事例などの研究が行われたか。		

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和7年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		